

2018年10月15日

報道関係各位

三菱地所株式会社  
下地島エアポートマネジメント株式会社  
ジェットスター・ジャパン株式会社  
成田国際空港株式会社  
沖縄県  
宮古島市  
一般社団法人宮古島観光協会

## 下地島空港旅客ターミナル施設開業日決定 ジェットスター・ジャパン 成田=下地島路線開設

～2019年3月30日、下地島空港に新しい旅客ターミナル施設が開業。成田空港からの定期便就航が決定～

三菱地所株式会社(以下「三菱地所」)が、沖縄県宮古島市伊良部地区で整備を進め、下地島エアポートマネジメント株式会社(以下「SAMCO」)が運営予定の下地島空港旅客ターミナル施設について、開業日を2019年3月30日(土)に決定するとともに、ジェットスター・ジャパン株式会社(以下「ジェットスター」)が、東京(成田)=下地島間を1日1往復で就航することを決定※しましたので、お知らせします。 ※関係当局の認可を前提とする。

本施設の開業にあわせて、三菱地所(SAMCO含む)と沖縄県、宮古島市は、沖縄観光コンベンションビューローと宮古島観光協会と連携し、官民一体でジェットスターの誘致活動を行ってきました。成田空港の運営会社である成田国際空港株式会社(以下「NAA」)も誘致メンバーに加わり、航空路線の発地側と着地側の両拠点からアプローチするという新たな誘致活動にも取り組み、成田空港を発着するジェットスターの国内線として13路線目となる成田=下地島路線の開設を迎える運びとなりました。

本路線の就航により、首都圏から宮古諸島への交通手段の選択肢が増え、国内屈指のリゾート地として人気の高い宮古諸島へ首都圏および海外からさらなる誘客を目指すとともに、宮古諸島から成田空港を経由して海外へ渡航される利用者の利便性も向上します。

新しく開業する旅客ターミナル施設は、コンセプト「空港から、リゾート、はじまる。」にふさわしく、溢れるリゾート感を体験してもらえるよう設計しました。国際線を受け入れる専用施設を設け、利用者のスムーズな入国・出国動線を確保しており、台湾、香港、韓国等からの国際線定期便・チャーター便の誘致も積極的に取り組んでいきます。



▲下地島空港 鳥瞰写真(北側より)



▲国内線搭乗待合室 完成予想 CG



▲出発ラウンジ・テラス 完成予想 CG

## ■「下地島空港旅客ターミナル施設」について

### ①概要

所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地

敷地面積：31,580 m<sup>2</sup>

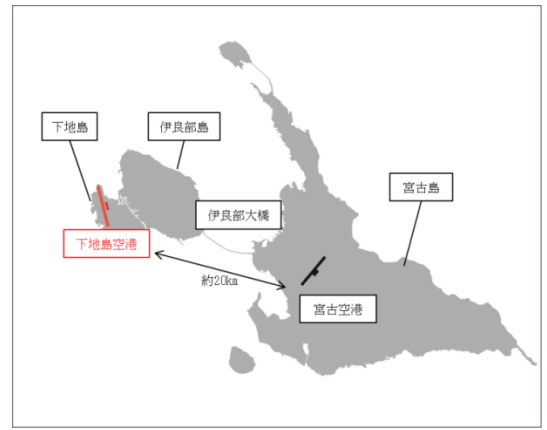
規模・構造：RC 造 + CLT 造・地上 1 階建

空港施設：チェックインカウンター数 12 箇所、搭乗ゲート 3 箇所、

到着ロビー 国際線・国内線各 1 箇所

飲食店 2 店舗、物販店 3 店舗（免税店含む）、

バス乗り場、タクシー乗り場、レンタカー受付カウンター、ATM



▲位置図

### ②「空港から、リゾート、はじまる。」をコンセプトとした空間づくり

キーコンセプトを「空港から、リゾート、はじまる。」と掲げ、空港利用者や航空会社の視点に立った施設づくりに取り組んでいます。空港に到着した瞬間にリゾート体験のはじまりを感じてもらえるよう、豊かな緑や自然の光を取り込み、航空機への搭乗直前まで利用者がくつろげる空間を演出します。

国際線を受け入れる専用施設を設け、スムーズな入国・出国動線を確保する等、利用者の動線を意識した設計となっており、使い勝手の良さを追求しています。



▲旅客ターミナル施設 外観完成予想 CG

### ■ジェットスター 成田=下地島路線について

就航開始：2019 年春頃

就航路線：東京(成田) = 下地島

就航機材：エアバス A320 型機（180 人乗り）

※運航スケジュール、航空券販売時期、航空券運賃等は、決定次第発表予定。



▲ジェットスター・ジャパン エアバス A320 型機

以上